

財団法人まちづくり市民財団

平成23年度事業計画

- (1) 情報収集・提供事業<担当 高島理事>(寄附行為4-2、4-3)  
(総予算1,200,000円)  
ホームページのリニューアルと充実のための企画と実施  
関係団体とのネットワークづくりと各種コラボレートの実施の検討
- (2) まちづくり人応援助成金事業<担当 櫻場理事・美和理事>(寄附行為4-2、4-5)  
(総予算6,500,000円)  
(助成金6,000,000円+現地調査費等費用500,000円)  
データベースの整備とネットワークづくり  
「まちづくり人」応援助成金事業の実施  
一般向け公募助成  
募集受付 平成23年3月1日から3月31日
- ・ 継続して行っている一般市民向け助成事業
  - ・ 23年度は前年までの「小さな循環」を特定のテーマとして助成に盛り込んできた実績を検証し、企画委員間において新たな視点で絞り込んだまちづくりのテーマを募集の基本方針としてインターネット上で広報する。選考は従来の選考プロセスに準拠し、日本青年会議所のボランティアメンバーの協力を得て事前選考を行い、現地調査を経て選考委員会による最終決定を行う。
- (3) 災害支援事業<担当 南専務理事>(寄附行為4-5)  
(災害助成金1,000,000円)  
緊急の国内災害復興支援活動に対する助成
- (4) 財政およびその他運営全般<担当 南専務理事>  
財政関連  
  - ・ 新公益法人制度への移行を考慮した将来の財政基盤のありかたの検討運営全般  
  - ・ 財団各役員の専門知識や地域のリーダーとしての経験に基づく、まちづくり活動の現場事例把握と助成先への指導の充実広報関連事業 (寄附行為4-2、4-3)  
(総予算2,000,000円)  
  - ・ 広報誌「まち towns」の発行  
(「まちづくり人」応援助成金事業・応募案内含む)  
(広報誌作成発送費1,000,000円)
  - ・ 日本JC京都会議等におけるPR
  - ・ 日本JC機関紙「We Believe」への関連記事の掲載
  - ・ 全国の卓越したまちづくり事業・まちづくり人材育成事業に対する顕彰

と財団賞の授与（人間力大賞事業などへの協力）

（人間力大賞 500,000 円など ただし日本 J C の正式な依頼に基づく）

- ・ 地域の青少年育成と世界平和に寄与するための、財団として効果的な P R 方法の検討と実施

その他

- ・ 理事会・評議員会の開催
- ・ 企画運営委員会の開催
- ・ 事業運営委員会の開催
- ・ 公益法人改革への対応の検討  
資産運用委員会、新公益法人移行検討委員会の開催
- ・ その他財団の目的達成に必要な事業の実施

第40回理事会・評議員会御中

財団法人まちづくり市民財団

専務理事 南 昭彦

理事 美和健一郎

東日本大震災に伴う「まちづくり人応援助成事業」実施要項変更の件

本年度の一般助成募集に関しては3月1日より申請を受け付けておりますが、受付期間中の3月11日に東日本大震災が発生し、日本の広範囲において申請を予定していたボランティア組織の活動に甚大な損害を与えました。

3月25日現在、約40件の申請がきておりますが、大部分が名古屋以西の西日本からの申請であり、被災地を中心とした東日本からは、まだわずかな数の申請しか届いておりません。今回の震災はあまりに被害の規模が大きく、締切の3月31日までに通常の申請が物理的に不可能である組織も多いと推測されます。

また、助成審査担当のJCボランティアメンバーも東北の被災地に居住する方も多く、居住地の復旧、復興活動に専念するため、ヒヤリング作業に困難をきたすおそれもあります。

ついては、通常であれば3月末に申請受付を締め切り助成先の審査を開始するところですが、申請先の地域的偏りが著しく、現在の環境の下で東日本地域のボランティア組織に申請のチャンスが公平に与えられる状況にないこと、また未曾有の震災被害に対する復興支援も当然本助成の趣旨にかなうことにかんがみ、財団専務理事、助成担当役員、ならびに選考委員の協議の上、当初予算のまちづくり人応援助成事業費を通常の3月末までの公募における採択案件と、4月以降予想される被災地域への復興支援事業の要請に対する助成の双方に適用したく存じます。助成案件決定プロセスについては、助成選考委員会及び助成担当財団役員が事業計画内容を精査し、専務理事に推薦をした上で確定することにいたしたく、理事会、評議員会より専務理事に対し、事業費配分と助成先最終決定の権限についてご一任いただきたく、よろしくご承認のほどお願い申し上げます。